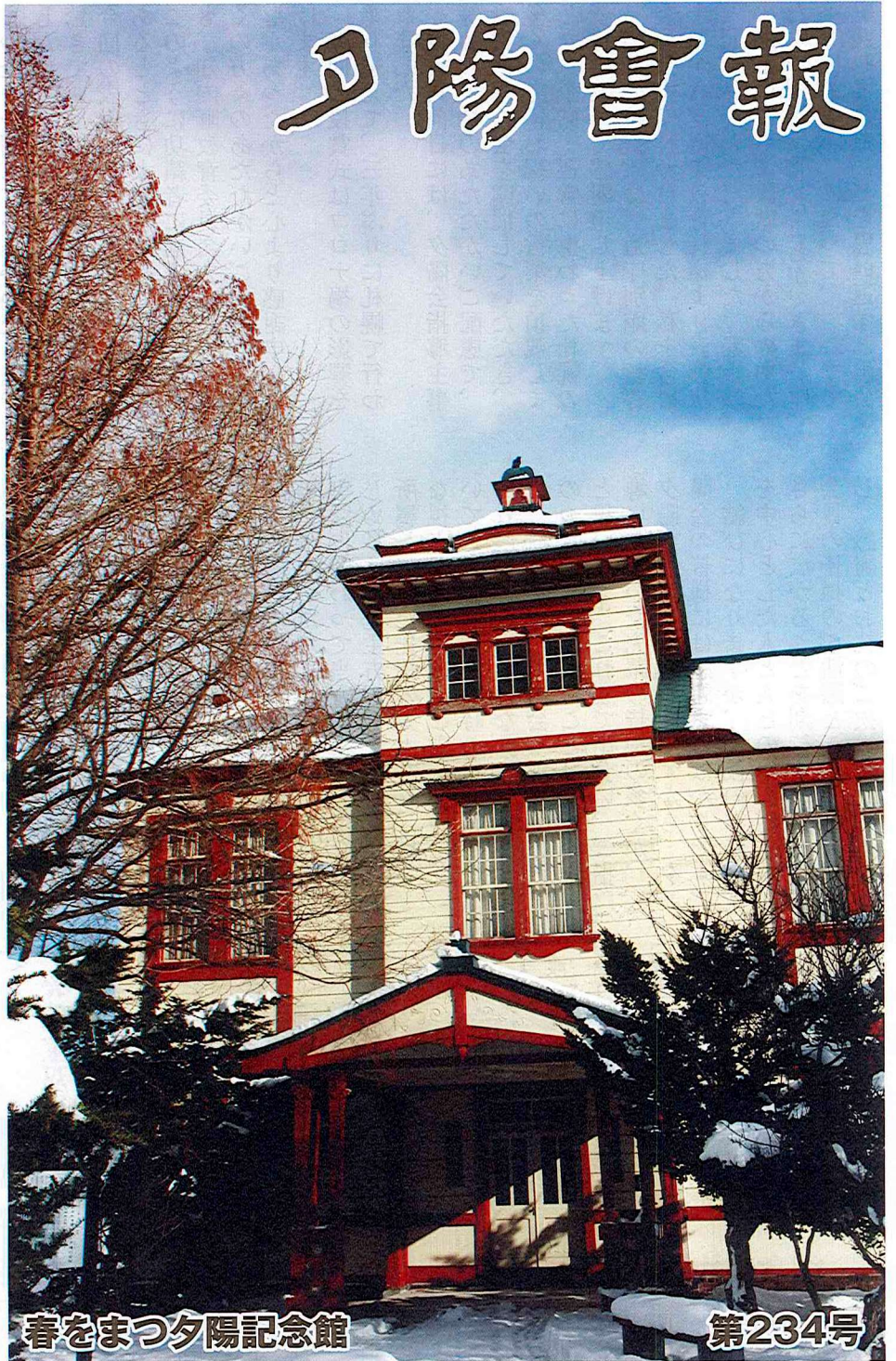


# 夕陽會報



春をまつ夕陽記念館

第234号



◇ 巻頭言 ◇

## 知的好奇心を掻き立てる

会長 風間 和夫

(昭和57年卒)

先日、私が担当している教職科目で大学三年生にレポート課題を出して、発表会を行った。学生のテーマの例を挙げると「教員の資質向上について」、「教員の労働環境」、「ICT教育の推進とその課題」、「日本

の学力は低下しているのか」等々。実社会経験がまだまだ少ない大学生ではあるものの自分なりの考えをしっかりと披露して、なかなか興味深く聴くことができた。ある学生は、授業の中で次期教育振興基本計画に

ついて紹介したことを受けて、早速ウェル・ビーイングについて調べ、自分なりの考えを述べた学生もいた。そんな中、ある学生が「大学の国際競争力について」と題し発表した。英語国際コースの学生らしい発表で、日本人の英語力の問題、留学生制度の課題などを中心にまとめていた。その彼女が発表の中で「現在の大学教育は学生の知的好奇心を掻き立てる力が不足しているのではないか」

との意見を述べた。ハッとするような話であった。

話は変わるが、大学に勤めて感心したことがある。私が学生だった頃とは比べものにならないくらい、真面目で素直な学生が多いということである。三年前の大学勤務初日、見ず知らずの私に「おはようございます」とか「お疲れ様です」と挨拶してくる学生が一人二人ではなかったことが驚きであった。

そんな学生たちなので、知的好奇心を掻き立てることを意図的に行うと、それに応えようとする学生が多いと感じている。できるだけ知的的好奇心を掻き立てるためにどうしたらよいか。その答えの一つとして適切かどうかわからないが、教育実践に役立つ演習を多く取り入れるようにしている。今まで、学習指導案の作成、板書の仕方、効果的なワークシートの作り方、ICTを利用した模擬授業などの演習やアイスブレイクやワールドカフェなどのグループワークなどを取り上げてみた。受け身の授業から、自ら考え、また実際の教育現場を想起させながら演習することが、学生たちにとってかなり新鮮で刺激的だったようである。

「知的好奇心を掻き立てる授業」は大学のみならず小学校や中学校でこそ大いに必要なのだと考える。ICT環境が進み、いかなることも検索することが可能となった。昨今、知識を教え込む授業ではないことは皆百も承知と思う。いかにして一人一人に知的好奇心を掻き立てる仕掛けをしていくか。そのことが子どもたちの学びを主体的にさせ、深い学びに向かわせることなのだろうと考える。

# 榮譽に輝く同窓



○令和四年度北海道教育功績者表彰  
多くの皆様に感謝して

知内町立知内小学校長 池田克己 (昭和60年卒)

この度、令和四年度北海道教育功績者の栄に浴することとなりました。まったく予期していなかったことでしたので、表彰のお話を聞いた時は驚きでいっぱいでした。私にとつて今回の表彰は身に余る光栄なことであるとともに大変恐縮しております。このように功績者に選ばれましたのも、知内町教育委員会をはじめ、多くの方々のあたたかいご支援や指導があったからと心より感謝申し上げます。

今回の授賞式はコロナ禍の影響を乗り越えて、三年ぶりに札幌で行われました。

授賞式前日には、夕陽会指導主事等会の皆様のあたたかいご配慮で、受賞を祝う会を開催していただき、多くの方にお祝いの言葉を頂戴しました。企画・運営に携わった札幌の皆様に変更して感謝申し上げます。

当日の授賞式は、道庁別館の教育委員会室で行われました。私を含め十名が倉本博史教育長様より表彰状と記念品をいただきました。緊張感のある中にもご臨席の方からのあたたかい拍手を感じる事ができました。今回の表彰にあたって、これまで実践してきたことを思い返すと出会

いとつながりにより積み重なった結果によるものと感じる事ができました。

私が教員として実践に取り組んだ中で、特に力を入れてきたのは、生活科や総合的な学習でした。その始まりは二十代の時に生活科という教科が新設されたことがきっかけでした。学校の中でカリキュラムを作り上げていく機会をいただくと共に、授業公開の場や授業実践を発表する場を多くいただきました。これらの実践に関わって当時の校長先生をはじめ多くの先生方、そして研究会に所属していた先輩の方々から、様々な視点からご指導やご支援をいただけてきました。その時の出会いがなければ、今の自分はないと思いますし、研究会などで出会った先生方とのつながりが広がることはなかったと思います。これまで出会い、ご指導いただいた先輩の皆様が多くが、夕陽会の方々でした。ですから、夕陽会の皆様には感謝するばかりです。結びになりますが、今後の夕陽会を中心とした人と人とのつながりがさらに広がることを期待すると共に、会員の皆様のご活躍とご多幸を祈念し、感謝とお礼のご挨拶と致します。

## 受賞(章)おめでとうございます

\*瑞宝双光章 (高齢者叙勲2/1)

秋田 正彦 氏 昭32年I卒

函館市昭和一の二八の二七

\*瑞宝双光章 (高齢者叙勲2/1)

安宅 基司 氏 昭33年I卒

函館市湯川町二の三八の四

\*瑞宝双光章 (高齢者叙勲3/1)

浅野 秀雄 氏

昭32年 室蘭教員養成所卒  
せたな町北檜山区二二七の一四

\*瑞宝双光章 (高齢者叙勲3/1)

千葉 功 氏 昭32年I卒

函館市美原五の四一の一三

ご就任おめでとうございます

\*真狩村教育長就任 (1/11)

齊藤 信之 氏 昭60年卒

\*函館市教育委員会教育長就任 (3/6)

藤井 寿夫 氏 昭49年卒



## 前納会費納入会員名簿追加分

渡邊 穂香 函 昭45	佐藤 和俊 網走連合 昭59
三浦 務 函 昭58	新谷 公康 函 昭59
磯部 伸一 函 昭58	木村 雅彦 函 昭59
河野 哲郎 函 昭58	佐々木 善憲 函 昭59
西谷 さおり 函 昭58	齋藤 縁 函 昭60
吉岡 昌子 函 昭58	濱方 弥生 首都圏 昭61
薮下 一己 網走連合 昭59	

(敬称略 令和5年3月6日現在)



### 函館市支部だより

函館市支部長 田 湯 義 浩

(昭和62年卒 函館市立港小学校長)

「身近で親しまれる函館市支部を目指します」これが、令和四年度の運営方針です。

四月二十三日、母校の十四番講義室をお借りして令和四年度の総会を開催しました。万全なコロナ対策の上で、夕陽会会長 藤川 隆様にもご臨席賜り、三年ぶりに会同しての開催に胸が熱くなる思いがしました。久しぶりに十四番講義室に足を運ぶ会員の胸にも同様の思いがあったようです。

夕陽会本部お膝元の函館市支部でも、学校関係の会員は減少傾向にあります。現在、母校の卒業生は、約二割が教員として、残りの八割は民間か公務員として就職しています。市内への就職率も高くありません。今までは教育関係者を中心として組織できましたが、今後は多数を占めていく民間企業や公務員になられた方々にも身近に感じていただける夕陽会になっていかなければ、会としての持続、継続は難しくなります。令和四年度は、そのための大きな変革の年でした。主な改善点として、

- ① 運営組織の改善
- ② 支部懇親会の廃止
- ③ 郵送業務の縮小
- ④ 前納会員制の廃止に向け整理

## 支部だより

に取り組み、持続可能で、身近で親しまれる函館市支部のための活動を進めてきました。次年度以降も検討しなければならぬ大きな課題です。コロナ禍においては、各種会合への参加も躊躇せざるを得ません。そこで、情報の発信ツールとして、函館市支部のホームページを開設しました。そこに総会資料や会報などを掲載し、いつでも気軽に見ていただけるようにしました。本部のホームページからもリンクしておりますので、どうぞご覧になってください。私事で恐縮ですが、前任校は胆振管内の学校でした。令和二年一月に室蘭で行われた胆振支部大懇親会に参加させていただいたことは忘れられません。次の月には、コロナのためいろいろなことが自粛になりました。令和四年六月の本部総会に出席し、お世話になった胆振支部の先輩との再会に、心が躍るような思いがしました。他の支部の方々との出会いにも絆を感じ、「これぞ夕陽会」との思いを強くしました。今年七月に本部大懇親会が開催予定です。千名を超える函館市支部は、会員の力を結集し、三年振りの楽しいひとときを全力で支えようと、懇親を深めたいと考えています。



### 人生の空から

日高支部長 五十嵐 重 信

(昭和61年卒 新冠町立新冠小学校長)

明治期の道路も鉄道も整備される前から、函館と浦河(振興局所在地)の間に不定期航路があった関係で、昭和期までは日高管内の教員は「石を投げれば夕陽に当たる」状況でした。実際、私が着任した昭和六十一年の歓迎会では何十畳もある大広間の端から端までとこ狭しとテーブルが置かれ、名だたる学校の校長教頭等の前で戸惑いながら自己紹介したことを覚えています。

平成以降、少子化・過疎化の影響で学校の統廃合が進む中、他大学の出身者の割合も増え、残念ながら夕陽会日高支部の会員数は減少の一途をたどっています。そんな中でも、毎年五月の歓迎会と二月の送別会は盛大に行っていました。コロナの関係でそれもできなくなっています。

さて、ここからは全くの私事です。山形県の庄内平野の米作り農家の次男坊として生まれ育った私が、初めて「北海道」に憧れを抱いたのは、中学一年の冬に友達の父親が土産に買ってきてくれた「幸福駅」の切符でした。手にした瞬間、広い広い雪原を煙を吐いて蒸気機関車が走る景色が目には浮かびました。

その後、兄貴が高校の修学旅行で買ってきてくれた「オロフレ峠」の

ペナントと「時計台」のキーホルダーが憧れを加速させ、共通一次の点数とも相談しながら、大学四年間は北海道で過ごすことに決めました。

四年間、これでもかというくらい道内のあちこちを巡りました。最も印象に残ったのが摩周湖でした。澄んだ空気と澄んだ水。その透明感が薄汚れた自分の心も透明にしてくれるような感覚でした。もう一つ印象に残った場所が襟裳岬でした。文字通り「なにもない」道をどこまでも走り、たどり着いた先には北海道地図そのままの形がありました。ユースホステルでギター片手に「襟裳岬」をがなっていた時には、まさか数年後にここで勤務するなんて思ってもいませんでした。

昭和五十七年春、四年間限定的のもりで出かけた北海道旅行は気が付くと四十年を超えました。いつの間にか家族もできましたが、今でもどこか旅をしている感覚です。この春に定年を迎え、この後の旅がどこに向かっていくのかは自分でもよくわかりませんが、一度だけの人生(たび)を思いっきり楽しみたいと思っています。とりあえず学生の頃に一緒に旅した仲間とともにまた北海道を旅しようかな。

# 各界で活躍する夕陽会員

## 北海道教育大学函館校との つながりを大切にして



村田 貴一

(平成14年卒 北斗市総務部企画課企画係)

私は、平成十年に北海道教育大学函館校に入学し、学生時代は日本史ゼミで歴史学の基礎や古文書の解説などを学びました。大学卒業後もゼミには継続して参加させてもらい、函館市の高龍寺史編纂や伊達市の伊達家史料整理といった活動にも加わりました。趣味である史跡や寺社仏閣巡りも、ゼミ活動の延長のように感じながら楽しんでいきます。

平成十四年三月に函館校を卒業後、同年四月に北斗市役所(当時は合併前の旧上磯町役場)に就職しました。私の役所生活は税務からスタートしたのですが、次に担当した環境衛生業務では、市街地に出没した蛇を捕まえたり、野良犬を捕まえたりと、学生時代には想像もしていなかった仕事に従事しました。とても刺激的で楽しかったですし、今でも自己紹介時の話題(ネタ)として有効に使える貴重な経験となっています。

通や地方創生に関する事務を担当しています。総務課時には函館校主催の合同官庁説明会に採用担当として参加したほか、現在の企画課では、函館校の学生とともにまちづくりの課題解決に係る連携事業に取り組みなど、卒業後も大学との深い関わりが継続しています。

北斗市役所には函館校出身者が十数名在籍しており、卒業生の会を定期的に開催しています。ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響で休止中ですが、新たな卒業生職員が採用されていますので、機を見て再開したいと考えています。また、令和元年には夕陽会「会社員・公務員部会」懇親会にも参加し、渡島管内で活躍されている卒業生の皆さんと交流でき、大きな刺激を受けました。こちらにも再開に期待しているところです。

気付けば北斗市役所に勤務してから二十年が過ぎました。卒業後も公私にわたって北海道教育大学函館校とのつながりが続いていることをうれしく思います。多方面で活躍されている夕陽会の先輩方との交流も含め、今後も函館校とさらなる関係強化を図りながら、北斗市のまちづくりに貢献できるよう励んでまいりますので、お力添えをいただければ幸いです。



藤本 歩

(平成19年卒 函館市立港小学校教諭)

## 総合的な学習の時間を中核に据えた 教育実現をめざして

私は、平成十九年に卒業しました。卒業後は、今は廃校となった木古内町立鶴岡小学校から教員生活スタートさせ、現在は函館市立港小学校に勤務して三年目になりました。

今年度は第五学年の担任と教育課程推進部で部長を務めています。教育課程推進部では、学校全体で取り組むカリキュラム・マネジメントの推進を中心に行っています。学校教育目標や重点教育目標に迫るため、全国学力学習状況調査等の各種調査や学校評価等からみた児童の実態、教師や保護者・地域の願いをもとに重点的に育てたい資質・能力を明確にし、日々の授業でそれらをバランスよく育むことができるように「港カリキュラム」という単元配列表に学校全体で取り組むことを目指しています。「港カリキュラム」を活用することで、各担任が、総合的な学習の時間を中心に教科等横断的な視点をもった授業改善を進められるようにしています。

し、さらに総合的な学習の時間で深めた学びを地域の人たちに発表する表現活動を行いました。社会に開かれた教育課程の実現を目指すと共に、児童に生きて働く教科の見方・考え方を身に付けられるように、今後実践を積み重ねたいと思います。

授業づくりの基盤は、学級の支持的風土の醸成だと思えます。どんなことでも自由に発言できる雰囲気、失敗や間違いを受け入れられる学級の雰囲気があれば、主体的・対話的で深い学びはもとより、児童の心の居場所をつくることができそうです。

そのため、生徒指導の三機能を生かした日常の授業を心掛けています。授業でも行事でも、自己決定や自己選択の場を設け、互いの意見のよさを認め合い、自己有用感を育むことに努めています。

本校に赴任して一年目のときに、先輩が「一人の十歩より、みんなの一步」という話をしてくださいました。職員とのチームワークを重んじ、一枚岩になって指導にあたる事ができるよう、まだまだ未熟で力不足ではありますが、中堅教諭としての責務を果たしたいと思えます。

最後に、夕陽会の諸先輩方には、様々な場面でご指導くださりまして、深く感謝申し上げます。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

その1  
**あゝる活動**  
**特色の活動**  
**母校の特母**

**北海道教育大学函館校  
吹奏楽団**

北海道教育大学函館校吹奏楽団です。この度は、夕陽会報二三四号に当団の活動を掲載していただきありがとうございます。どうぞよろしくお願いします。

当団は、一九七七年（昭和52年）に当時在学されていた有志によって創設されました。これまでの四十六年の活動の中で、全日本吹奏楽コンクールへ二十七回出場している歴史のある団です。OG・OBの方々の中には、現在、函館近郊や全道・全国各地で吹奏楽の指導にあたり、ご活躍されている方が数多くいらっしゃいます。現在、当団音楽監督・



第70回全日本吹奏楽コンクール

常任指揮者としてご指導いただいている三笠裕也先生も当団のOBです。昨年の十月に福岡県、北九州ソレイユホールにて行われた「第七十回全日本吹奏楽コンクール」・大学の部」では、たくさんの方々に支えられ、銀賞を受賞することができました。応援していただいた皆様、に改めて感謝申し上げます。

さて、当団では、演奏技術の向上はもちろんですが、地域社会への貢献と音楽文化の発展、吹奏楽の普及のため、訪問演奏や演奏指導など、知識と経験を活かした取組を積極的に行っています。地域の方々とのつながりを通して、音楽の素晴らしさを伝えたいという思いをもち、日々活動を行っています。このような点が私たちの強みであり、魅力でもあると感じております。また、当団の活動は、学生が主体となっており、主催の演奏会（定期演奏会、WINTER CONCERT）、春一番コンサート）では、係の団員が一から企画、運営を行い、演奏会に向けた準備もすべて担っています。その他にも、日々の練習や

上はもちろんですが、地域社会への貢献と音楽文化の発展、吹奏楽の普及のため、訪問演奏や演奏指導など、知識と経験を活かした取組を積極的に行っています。地域の方々とのつながりを通して、音楽の素晴らしさを伝えたいという思いをもち、日々活動を行っています。このような点が私たちの強みであり、魅力でもあると感じております。また、当団の活動は、学生が主体となっており、主催の演奏会（定期演奏会、WINTER CONCERT）、春一番コンサート）では、係の団員が一から企画、運営を行い、演奏会に向けた準備もすべて担っています。その他にも、日々の練習や



WINTER CONCERT 2022

公式HP



イベントの計画など、団員が各々の係の活動に積極的に取り組んでいます。これらは、中学校や高校の部活動とは大きく異なる点であり、やりがいを感じることもできる点でもあります。

私たちの活動は、良い音楽をつくることや演奏技術を向上させることだけではなく、その過程で、社会生活を行っていく上で重要な力を身に付けることにも繋がっていると感じています。たくさんの団員と関わり切磋琢磨しながら活動を行うことで、主体性や計画性など社会で役に立つ様々な力を養うことができます。大人数で一つのことに取り組むことの難しさや喜びを感じながら、大変なときに誰かと支え合える環境があるということはとても幸せなことだと思います。

また、演奏会の他にも、小・中学校での音楽教室・芸術鑑賞、様々な施設や地域のイベントでの訪問演奏など、今年度はコロナ禍ではありましたが、十数回演奏させていただきました。函館市内の小中学校での訪問演奏では、鑑賞や指揮者の体験を通して音楽の楽しさを実感してもらおうことができました。



函館市立高丘小学校音楽教室

また、北海道・北東部の縄文遺跡群、垣ノ島遺跡で行われた「はこだて縄文まつりin垣ノ島」や、函館アリーナで行われた「函館市二十歳の集い」などの地域イベントでも演奏をさせていただきました。大変貴重な経験をさせていただきました。

二〇二〇年からは、新型コロナウイルスの影響により活動停止や制限を余儀なくされた期間もありました。そうした中でも、自分たちに今できることを模索し、工夫をして活動や運営を行うよう心がけてきました。私たちがこうして活動することができているのは、ご指導くださる先生方やOB・OGの皆様、私たちの活動を日頃より応援してくださる地域の皆様のおかげであります。夕陽会の皆様にお礼申し上げます。夕陽会の皆様におかれましては、いつもご支援いただき、誠にありがとうございます。皆様の応援に励まされるよう、努力を重ね、感謝の気持ちを持って活動してまいります。今後とも北海道教育大学函館校吹奏楽団をよろしく願っています。



令和5年 二十歳の集い

# その2 ある活動 あの特徴 母校

## 地域づくりのイベント 厚真町での実習を通じて

令和四年八月から九月にかけて、私たちは地域づくり支援実習として、四名で厚真町に行きました。地域づくり支援実習は、齋藤征人先生が企画をしてくださっているもので、地域の活性化や再生に学生が関わることができ、貴重な体験ができる実習です。私は昨年度の地域づくり支援実習に参加した先輩から「とても楽しいからぜひ参加して」と話を聞いていて、ぜひ厚真町に行ってみたくて、今回の実習の参加を決めました。

一人で不安ながらも、わくわくした気持ちで電車に乗り、綺麗な海を見ながらとうとうとしていると、あつという間に待ち合わせの南千歳駅に着きました。実習のサポートや企画をしてくださるesorockのたにやん、たけしさんと合流し、「厚真ってどんなところなんだろう」「どんな人に会えるんだろう」「どんな体験ができるんだろう」「二週間ちゃんとやっつけていけるかな」などを考えなが

ら、いざ厚真町へ…!

厚真町での生活について時間を追って、書いていきます。

### 〈午前7時〉

眠い目をこすって起床。みんなで朝ごはんを作ります。ちゃんと朝ごはんを食べることの大切さを感じました。

### 〈午前8時〉

堀田さん家のしいたけ栽培のお手伝い。

堀田さん家では、「原木椎茸」を栽培しています。「原木椎茸」とは、



間伐したミズナラの木に椎茸の菌を植え付けて栽培する方法です。原木を水漬け↓水揚げ↓棚上げ↓収穫↓乾燥とといった手順で栽培します。水を含んだ原木はとても重く、これを一日に千本近く毎日運ぶと聞き大変でも長く続けていらっしやることに尊敬しました!

この原木、震災時に全て倒れてしまったのですが、ボランティアの方のおかげで二日で直し終えたそうです。人との繋がり、助け合うことを実感したお話でした!

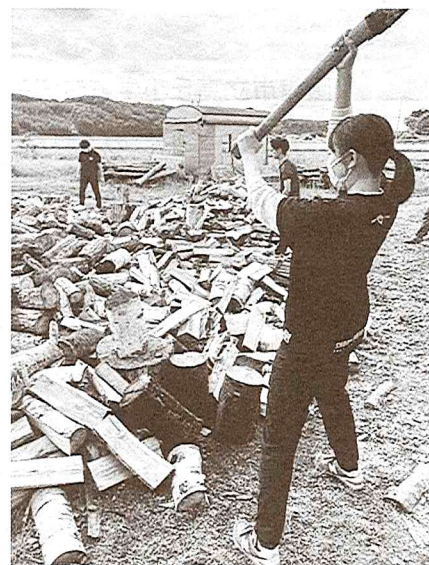
### 〈午後0時〉

ゆみこさんが作ってくださるおいしいお昼ごはんをみんなで食べます。頑張って作業した分とみんなで食べる楽しさで、ごはんがさらにおいしく感じます。

### 〈ある日の午後〉

西塾馬搬さんにおじゃまして、みんなで薪割り体験。

西塾さんは、馬と共に林業を行う「馬搬林業」に取り組んでおり、地域おこし協力隊として三年間活動したのち、協力隊を卒業してからも厚



真町で馬たちと林業を行っています。薪がスパッと割れる瞬間がとても気持ち良かったです!

また、薪割り体験だけでなく、西塾さんと実習中お世話になった厚真町教育委員会の斉藤烈さんが「大人を動かすことの大変さ」についてお話ししてくれました。何かを始めようとする時、大人が既に持っている固定観念は変えにくいそう…。話し合いを重ね、少しずつでも町民が同じ方向を向いて、同じ目的に向かっていくことが理想的だなと感じました。

### 〈またある日の午後〉

自転車をこいで、厚真高校の高校生たちがいる公営塾へ。

「高校生活魅力化プロジェクト」と

して、地元の高校に入学する中学生が減少した問題から発足された、三名の地域おこし協力隊が活動されている場所です。

高校生とお話したり、モルックで遊んだり、壁を塗ったり、おにぎりを作ったり：放課後の時間を一緒に楽しませてもらいました。

高校生の好奇心を高めて、自分の夢中になれることを見つける場になりたい！という職員の方のお話を聞いて、様々な体験ができて視野を広げる場所の必要性を感じました。

〈また別の日の午後〉

厚真中学校におじゃまして、ふるさと教育の授業見学。「よりよい厚真町にするためには」というテーマでしたが、生徒から出た意見は、観光重視のものや現実離れたものが多かったです。夜にみんな話し合い、自分事として考えさせるにはどうしたらいいのかなど、ふるさと教育の難しさを感じました。

〈さらにまた別の日の午後〉

烈さんから地震の時のお話を聞きながら、厚真町巡り。実習期間中の九月六日は胆振東部地震が起きた日でした。その日に堀田さんと烈さん

から実際のお話を聞くことができました。実際のお話を聞くと少し辛くなりましたが、私が印象に残ったのは、「地域コミュニティ」と「被害のグラデーション」という言葉でした。災害支援に正解はないけれど、自分なりにできることを探して実行することが大切だと思いました。

〈今日は特別な日〉

厚真町の中学生と一緒に、インゲ



リツシユキャンブ。

両替、買い物、病院受診、レストランで注文等のシチュエーション対応、ゲームを英語で行いました。

A L Tと中学生が英語で頑張ってコミュニケーションをとろうとしている場面を見ながら、いろいろと大学生も考えました。伝えるのが難しいからこそ、表情やジェスチャー、

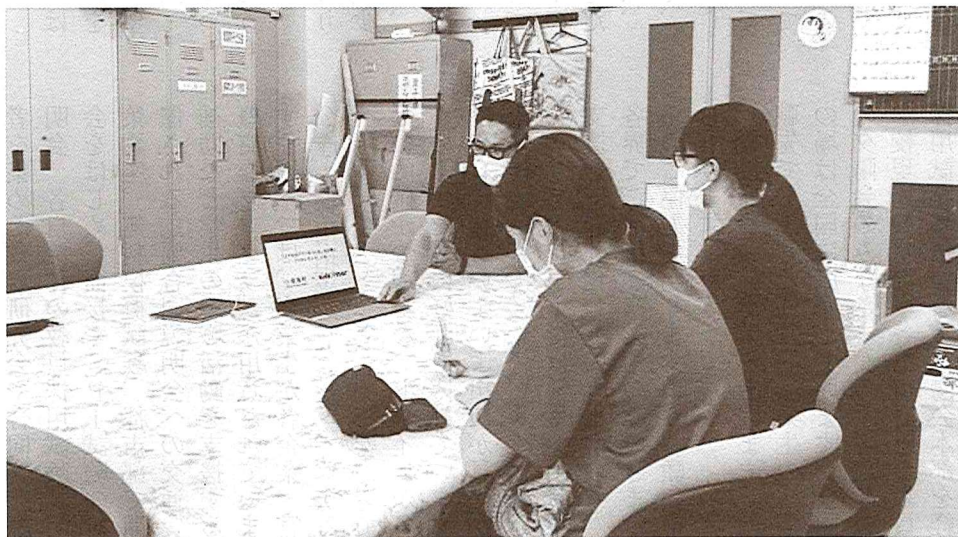
気持ちが大変であるという意見や、学校教育と社会教育が乖離してしまっている等の意見が出ました。このようなことから、完璧なものではなく、未完成なものからも多くの事柄を学べるとわかりました。

最後になりましたが、齋藤先生をはじめ、ezorockのたにさん、たけしさん、烈さんなどたくさんの方々に支えていただいたからこそ、とても充実した実習期間を過ごすことができました。ありがとうございました。また、夕陽会の皆様にも支援していただき、大変お世話になりました。実習に参加してよかったと思います。たくさんの人と関わる中で、いいところも悪いところも見ることができ、それをまたさ

らにみんなで考える、という毎日はとても勉強になりました。大学生最後の夏休みに厚真町でもとても楽しく、充実した日々を過ごし、素敵な思い出ができました。

(北海道教育大学函館校  
国際地域学科地域教育専攻

四年 鈴木 佳恵)





北海道教育大学キャリアセンター長 村田 敦郎

# 函館校の学生の就職状況について

新型コロナウイルスの感染拡大が長期化し、コロナとの共存が様々に模索される昨今ですが、卒業生の皆様におかれましてはそれぞれの場所において多大な尽力を注がれていると拝察し、敬意を表します。

まずコロナ禍の令和四年三月に卒業した国際地域学科五期生の就職状況を紹介します。卒業生二百五十二名の進路別の割合は、グラフに示す通り、民間企業48%、公務員20%、教員17%、進学4%と続きます。卒業生のうち、就職希望者(進学およびその他進路を除く)の就職率は93・7%でした。就職先の一例を示すと、アイリスオーヤマ二名、日本生命二名、明治安田生命二名、ソルハ二名、ヤマダデンキ二名、USEN-NEXT HOLDINGS二名、トライグループ、損保ジャパン、ニトリ、ルートイングループ、日本郵便などの全国展開をする企業をはじめ、JR東日本、ミサワホーム北海道、北海道新聞社、野口観光、札幌トヨタ、ホクレン農業共済組合、れんせい、はこだて未来館、金融ではみちのく銀行二名、北海道銀行、十七銀行、秋田銀行、北海道信用金庫協会などの各地域の主要企業があげられます。東北・北海道の主要な

金融機関を含む金融業・保険業への就職が多いのは例年通りですが教育・学習支援事業への就職者数が安定的になっているのが近年の特徴となっております。

官公庁では、総務省、法務省札幌法務局、仙台出入国在留管理庁、仙台国税局、北海道開発局、北海道北海少年院などの国家公務員系をはじめ、北海道庁八名、東京都特別区、秋田県庁、岩手県庁、警視庁、道警三名、札幌市消防、恵庭市消防などの地方公務員、函館市九名、札幌市二名、北上市二名、横手市二名、十和田市二名、青森市、山形市、登米市、北秋田市、大仙市、湯沢市、花巻市、能代市、小樽市、恵庭市、留萌市、室蘭市井川町、福島町、六ヶ所村などの役所・役場に採用されています。

学校教員としては、北海道十七名：札幌市六名、青森県四名、秋田県二名、岩手県七名、宮城県三名、山形県三名、茨城県、東京都、千葉県、愛知県、新潟県、島根県などで教壇に立っています。また、北海道大学、東北大学、神戸大学、筑波大学、国際教養大学、和光大学、宮城教育大学、北海道教育大学二名などの大学院に進学し、勉学に励んでいる卒業

生もいます。

国際地域学科五期生の就職率は93・7%と紹介しましたが、それを志望別にみてみると、民間企業志望者が95・0%、公務員志望者が94・7%、教員志望者が88・9%となっております。さらに教員志望者のうち正規採用は70・3%にとどまり、残りは臨時採用または未就職となりました。少子化による学校数の減少や定年後の再任用教員の増加など、大学卒業生に対する厳しい雇用環境が背景にあると考えられます。

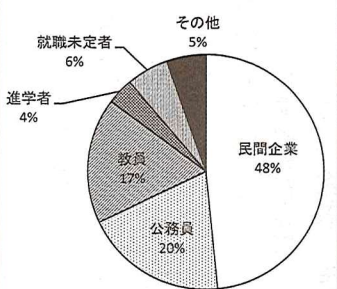
さてここで、この場をお借りして、キャリアセンター函館校センターの就職支援について紹介させていただきます。まず、国際地域学科では、個々の学生の自己実現に向けて、キャリア教育に力を入れています。本学の特徴的なカリキュラムとして、キャリア開発科目を十科目開講しており、三科目六単位以上修得することが卒業要件となります。一年生では自己分析や職業研究などを通して就職を自己分析するための必修科目「キャリアガイダンスI」を受講し、

二年生からは民間企業・官庁・教員の三コースに分かれて、「キャリアガイダンスII」「キャリア開発I・II」では学年が上がるにしたがって専門性を深めて、来るべき就職活動への準備を一步一步進めていきます。授業では著名な民間企業や教育委員会などの採用担当者から直接話を聞く機会も設けています。また授業だけではなく、各企業・官公庁の採用担当

者を集めた業界研究会や合同官庁説明会、各自自治体の教員採用試験説明会をはじめ、面接やSPI試験の対策講座、無料模擬試験、都市部で開催される主要合同説明会への交通費補助など学生の就職活動を支援する豊富なプログラムが用意されています。近年では、卒業生が各企業・官公庁の採用担当者として来校するケースが増えてきており、先輩ならではの的確かつ親身なアドバイスが多く、の学生たちに好評を博しています。コロナ禍もいよいよ出口が見えかけてきたように思います。函館キャリアセンターでは学生への就職支援を一層強化していきますので、各界でご活躍の卒業生のみならず、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後にお願いを申し上げます。就職先でも示した通り、卒業生の活躍の場は全国に広がっています。全国の夕陽会のみならず、各地域の学校現場の状況や各都道府県の教員採用試験の情報など夕陽会本部を経由して、キャリアセンターへお届けいただけると幸いに存じます。

令和4年3月卒業生





# 特集 母校のいま、学生の学び

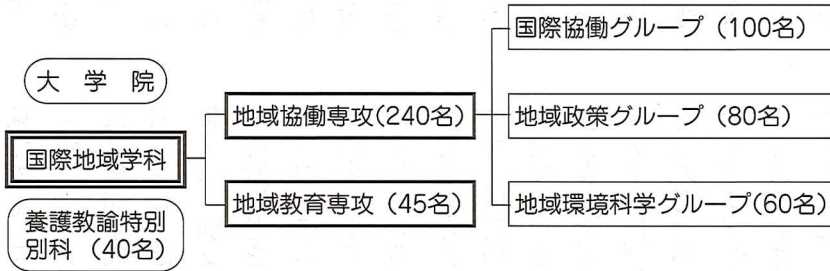
北海道教育大学函館校  
国際地域学科教授(法哲学)

伊藤 泰

## 国際地域学科の構成

国際地域学科は、国際的な視野と教育マインドをもち、豊かなコミュニケーション能力を発揮しながら、地域を活性化できる人材を養成することを特色としています。平成二十六年に学科が設置されて以来、地域の再生を担う人材、国際的に羽ばたける人材、さらに教員や指導員

として地域の教育や社会福祉に貢献できる人材が、函館校から数多く社会に飛び立っています。そんな国際地域学科について簡単に説明すると、国際的視野をもって地域社会の諸問題を解決できる人材の育成を目指す「地域協働専攻」と、地域の教育課題を解決できる人材の育成を目指す「地域教育専攻」という、二つの専攻で構成されています。このうち「地域教育専攻」では、小学校教諭1種免許状の取得を卒業要件としており、小学校教員や特別支援学校教員などの養成に取り組んでいます。もうひとつの専攻である「地



域協働専攻」は、さらに、国や民族・地域・文化・社会の違いを超えて共に行動するための協働力を身につける「国際協働グループ」、地方行政やまちづくりを担うためのネットワーク構築力と実行力を身につける「地域政策グループ」、そして地域の環境問題を解決するための科学的方法と技術を身につける「地域環境科学グループ」という三つのグループから構成されており、それぞれのグループでは、主に人文科学(国際協働グループ)、社会科学(地域政策グループ)、自然科学(地域環境科学グループ)の知識を習得しながら、さまざまな地域課題の解決に取り組んでいます。

特色ある教育課程  
国際地域学科の教

育課程にはいくつかの特色ある試みがあります。規模の大きなものとしては、地域で活躍する上で必要な実践的課題解決能力を養うための地域課題解決型PBL(Problem Based Learning = 課題解決型学習)かつ

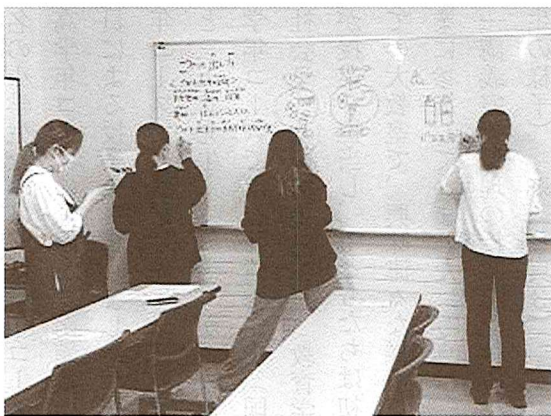
「Project Based Learning = 企画構想実施型学習」科目である、「地域プロジェクト」などが挙げられるでしょう。二つの専攻のすべての学生がさまざまな地域課題の解決に取り組むべく、仲間たちとともに一年の間企画・立案・行動その他さまざまなことに取り組むというこの授業は、地域を活性化できる人材の養成を目指す国際地域学科において中核となるものであり、およそ四十のプロジェクトの詳細については夕陽会報第232号でもご紹介しました。国際地域学科の教育課程における特色ある試みは、もちろんこの「地域プロジェクト」ばかりではありません。以下では、「地域協働専攻の取組」「地域教育専攻の取組」「函館校全体の取組」に分けて、そのいくつかを紹介しましょう。

### 地域協働専攻の取組

地域協働専攻の取組としてはじめに挙げるのは、「国際地域イノベ

ター人材養成プログラム(通称「国プロ」)です。これは、いくつかの基盤科目および共通科目とともに、「日本語学習支援専攻」または「地域づくり専攻」のいずれかを選んで

授業を履修することで、最終的に「国際地域イノベーター(日本語学習支援/地域づくり/観光まちづくり)のいずれか」の認定資格を取得することができるといえるものです。令和三年度より始まったこのプログラムは、地域教育専攻所属の学生も受講できますが、基本的には地域協働専攻所属の学生が多く取り組んでおり、彼らは日本語学習支援や観光まちづくりなどの舞台で日々汗を流しています(写真は、日本語学習支援に奮闘する学生の様子)。※【写真1】



【写真1】

地域協働専攻の取組の二つ目は、「海外スタディツアー」です。地域協働専攻のうちでも国際協働グループの学生は、卒業までにいずれかの海外体験型科目を履修すること、つまりは「国外に出ていろんな体験をしてみる」とが求められます。海外体験型科目には交換留学や語学短期研修、海外インターンシップなど、さまざまなものがありますが、「海外スタディツアー」はそのなかのひとつです。この科目は、学生たちが教員らの引率のもと複数のグループに分かれて諸々の国・地域に出かけ、それぞれの国の大学や企業、国際機関などを訪問して交流を行い国際的な視野を広げるといふものであり、これまで訪れた場所としては、アメリカ（ワシントン・ニューヨーク）、中国（瀋陽・大連・上海・蘇州・無錫・鎮江・南京・杭州・紹興）、韓国（ソウル・釜山・慶州）、台湾（台北・台中）、インドネシア（ジャカルタ・西ジャワ州）、ポーランド（ワルシャワ・クラクフ・プラハ）、カンボジア（プノンペン・コンポンチャム・シエムリアップ・ポイペト）などがあります。

**地域教育専攻の取組**

次に地域教育専攻の取組について

見てみましょう。取り上げるのは「サマースクールin函館」です。これは函館市内に住んでいる知的障害児、もしくは函館市内の特別支援学級又は特別支援学校に在籍している知的障害児を対象とした夏期休暇支援プログラムであり、平成九年の開始以来二十五年の長きにわたって続けられている活動です。ご存知の方も少なからずおられるかと思いますが。活動の企画・運営は教育大函館校の教員と学生（その多くは地域教育専攻所属）が組織する「サマースクールin函館実行委員会」が行い、毎年八月上旬に、百名以上の学生がボランティアとして参加する形で開催されています。障害のある子どもたちが楽しく充実した夏休みを過ごせるように、八幡小学校を舞台に学生と子どもたちが全力で遊ぶ姿は、



【写真2】

新聞等の報道でもおなじみです。

この「サマースクールin函館」は、このたび「令和四年度『障害者の生涯学習支援活動』に係る文部科学大臣表彰」の対象に選出され、永岡文部科学大臣より表彰状を授与されました（写真は、いただいた表彰状を掲げる学生（実行委員長と副委員長）の様子）。※【写真2】

「『障害者の生涯学習支援活動』に係る文部科学大臣表彰」とは、障害者の生涯を通じた多様な学習を支える活動のうちその活動内容が他の模範と認められるものについて、その功績をたたえて文部科学大臣が表彰するというものであり、今回、二十五年という長期にわたり活動を続けてきた函館校の学生たちの努力が認められました。

**函館校全体の取組**

最後に、地域教育専攻および地域教育専攻に限らない、函館校全体の取組についてご紹介しましょう。まずは、「函館校こどもカレッジ」です。これは、大学の先生が函館校の大教室を舞台に小学生に面白おかしい授業を行うという企画であり、初の対面での開催となった昨年の十月十五日（土）に函館校に来校した七十二

名の小学生たちは、低学年コースと高学年コースに分かれて函館校の教員による授業を受講しました。低学年コースでは奥平理先生（観光学）と三上修先生（生態学）が、また高学年コースでは有井晴香先生（国際社会学）と奥田秀巳先生（教育学）が授業を担当し、子どもたちは初めての大教室で、興味津々な様子で授業に参加していました（写真は、第一講義室で地理の授業を受ける小学生の様子）。※【写真3】



【写真3】

取組の二つ目は、「国際地域研究公開シンポジウム」です。函館校では、学科の設置以来蓄積されてきた国際

地域学研究成果を社会に還元すべく、平成三十年より公開のシンポジウムを開催しております。昨年の七月一日(金)に開催された第五回目のシンポジウムでは、「国際地域研究の可能性―重なりあう世界 わたしは何をする?―」をテーマに、百名ほどの学生や一般市民の参加のもと、講演やパネルディスカッションが行われました。基調講演では、国際協力機構シニア・ジェンダー・アドバイザーの田中由美子氏による「ジェンダーと多様性の視点からの防災・減災・復興」についての講演が行われ、災害時には女性や障害者、貧困者などの被害及び死者数が男性に比べて多いという実態や、避難所においてもジェンダー差別という二次被害を受けている国内外の実態が報告されました。最後に、今後も必ず起こる災害への備えについて、特に多様性の視点から防災を考え、自分ができることはなにかを考えてほしいとのメッセージをいただきました。

最後にこれも紹介しましょう。「函館校の大学祭である「函教祭(かんきょうさい)」についてです。函館校の歴史とともに古くからある函教祭ですが、新型コロナウイルス感染症の影響でこの二年間は開催すること

ができませんでした。そんななか、実に三年ぶりとなる函教祭が昨年の十一月五日(土)に函館校を舞台に開催されました。コロナで打撃を受けた函館に活気を取り戻すべく、「Unite(ユナイト)」をテーマに掲げた今回の函教祭。その名の通り、函館校の学生が一丸となっただけでなく、さらに北海道大学水産学部や公立はこだて未来大学の学生とも連携した企画を立てるなど、まさに函館のすべての大学生の「Unite」を実現したイベントとなりました(写真は、函教祭でよさこいの演舞を披露する学生サークル「息吹」のメンバーたち)。 ※【写真4】



【写真4】



## 会務報告



幹事長  
**新田 英樹**  
(平成4年卒)

- 《一般会務》
- 11/5 指導主事等会学習会を開催する (札幌)
  - 11/15 第一回本部役員会を開催する (亀田交流プラザ)
  - 11/29~12/1 学生支援事業 第二弾を開催する (大学)

- 12/2 会報二二三号発行する
- 12/3 夕陽会道東ブロック剣路会議をオンラインで開催する
- 12/11 北海道教育大学函館校吹奏楽団が WINTER CONCERT 2022を開催する (芸術ホール)
- 1/5 令和四年度北海道教育功績者表彰受賞を祝う会を開催する (札幌)
- 2/23 北海道教育大学函館校吹奏楽団が春一番コンサート 2023を開催する (市民会館)

夕陽会員訃報

神原 晟至 氏 昭34Ⅱ 3・6・1逝去  
 七飯町本町3の7の40 子きよみ氏

川内 久幸 氏 昭33Ⅱ 3・8・12逝去  
 小樽市赤岩1の9の8 妻 恒子氏

今井 弘幸 氏 昭35Ⅰ 4・8・17逝去  
 函館市桔梗町1の12の12 妻

村山 康夫 氏 昭29Ⅱ 4・8・24逝去  
 北斗市七重浜2の30の18 子町島雅子氏

品川 克己 氏 昭30Ⅰ 4・9・10逝去  
 函館市上野町9の6 不明

高橋 哲郎 氏 昭36Ⅱ 4・9・25逝去  
 不明

飯田 豊昭 氏 昭28Ⅰ 4・9・逝去  
 北斗市中央3の4の13 不明

池内 正 氏 昭34Ⅱ 4・10・5逝去  
 函館市鍛冶町1の35の14 ご家族 睦子氏

海老子 修 氏 昭36Ⅰ 4・11・19逝去  
 伊達市末永町94の52 妻 久美子氏

竹中 征機 氏 昭42 4・11・27逝去  
 函館市高丘町21の12 妻 郁代氏

松本(佐々木)憲子 氏 昭45 4・11・29逝去  
 苫小牧市三光6の9の7 不明

藤澤 健二 氏 昭47 4・11・30逝去  
 北斗市本町3の21の34 妻 和子氏

安川 平八 氏 昭44 4・12・13逝去  
 函館市北美原2の5の11 妻 早子氏

経田 英輔 氏 昭35 4・12・16逝去  
 函館市山の手3の5の37 妻 和子氏

上野達治郎 氏 昭22 4・逝去  
 札幌市中央区大通西27の1の7の201 不明

小林 正且 氏 昭34Ⅱ 5・1・7逝去  
 函館市桔梗3の15の7 妻 享子氏

舟崎 克則 氏 昭33Ⅰ 5・1・13逝去  
 小樽市天神1の10の164 妻 俊子氏

浦田 弘 氏 昭33Ⅱ 5・1・17逝去  
 七飯町緑町3の12の40 妻 秀子氏

奥谷(伊藤)妙子 氏 昭32Ⅱ 5・1・21逝去  
 函館市富岡町2の54の13 夫 雅喜氏

鈴木 央 氏 昭32Ⅰ 5・2・1逝去  
 函館市東山2の36の16 妻 俱江氏

長崎 和雄 氏 昭34Ⅱ 5・2・15逝去  
 函館市神山1の29の4 妻 富美子氏

松澤(佐藤)京子 氏 昭29Ⅱ 5・2・18逝去  
 函館市日吉町1の22の28 夫 宣昭氏

渡部 智夫 氏 昭30Ⅰ 5・2・20逝去  
 北斗市本町4の8の6 二女 島 理佳氏

(令和5年3月6日現在)



令和5年度 北海道教育大学夕陽会 本部総会・大懇親会・全国支部長会議のお知らせ

日時 令和5年7月1日(土) 日時が変更となっております  
 ご理解とご協力をお願いいたします

会場 函館国際ホテル (〒040-0064 函館市大手町5番10号 ☎0138-23-5151)

- ・令和5年度 全国支部長会議 13時30分～15時30分
- ・令和5年度 総 会 16時～17時
- ・令和5年度 大 懇 親 会 17時30分～20時

※新型コロナウイルス感染症の流行状況により、延期または中止する場合があります。

編集後記

◆三年の時を経て、ようやく出口から差し込む明るい光が見えてきました。五月八日、新型コロナウイルス感染症が五類に引き下げられます。◆世界が大きな犠牲を払い続けた激動の年月。未だに混乱は続いています。しかし、着実に社会は変わろうとしています。この変化を、よい変化にするか否かは、私たち一人一人の冷静な判断と行動にかかっています。◆五月八日になれば、新型コロナウイルスがいなくなるわけではありませぬ。さらに強毒性の変異株が出現するとも限りませぬ。個人としてできる対策を確実に実行すること、社会全体が守られることを忘れてはならないと改めて思います。

◆停止、縮小していた我が夕陽会の活動も、徐々に回復します。嬉しい限りです。でも、焦りは禁物。コロナ禍で磨いた状況把握力をフル活用して徐々に日常を取り戻していきましょう。◆新年度が新生夕陽会本格始動の一年となることを願いつつ会報第二三四号をお届けいたします。(情宣部長 櫻野 人範 記 昭60卒)

へお願いいたします。  
 本部事務局へのご連絡などは、次の所

041 0806 函館市美原3丁目48番6号  
 北海道教育大学附属函館小学校内  
 夕陽会本部事務局  
 電話番号(0138)46-2235  
 夕陽会専用070-85521-9110  
 FAX番号(0138)47-7376  
 e-mail:sekiyoukai34520@gmail.com

題字 文化勲章受章者 金子賢蔵(鶴亭)氏(昭4卒)